

初めての米作り体験

上里町立賀美小学校 四年
中 嶋 紗 良

わたしの家の回りや通学路には、田んぼがたくさんあります。身近に田んぼがたくさんあるのに、今までわたしは、お米がどのようにできているのかわかりませんでした。そこで、友達と一しよに、町の小学生を対象に申しこみができる「米づくり体験教室」に、参加しました。

第一回目六月十七日は、田植えでした。最初は、みんな、なえができている場所に取りに行き、そのなえを田んぼに植えられるじょうたいにしてから、田んぼに行きました。田んぼの中に入ってみると、始めは、歩くのも大変だし、気持ちが悪く感じましたが、だんだんとなれてくる内に、ぎやくに、気持ちがいい感じになりました。手でなえを二〜三本ずつ植え付けました。目印ひもを引っぱってもらい、みんなで一列になり、なえがまっすぐになるように植えました。バラバラに植えてしまうと、きちんと育たなくなってしまうそうです。だから、家の回りや通学路の田んぼは、きれいなえがならんで植えてあるんだなと思いました。どろんこになりながら、初めて田植えをしてみても、大変でしたが、とても楽しかったです。

第二回目七月二十二日は、かかし作りをしました。なぜ、かかしを作るかというと、田んぼの中にかかしを立たせて、鳥などの害じゆうから、お米を守ってもらうためです。かかし作りは、はんに分かれて古着などを用意して、それぞれオリジナルのかかしを作りました。みんな、

「どんなかかしができあがるかな？」
「楽しみなだね。」

と、一生けん命作りました。全部で十体のかかしができ、どのかかしも立ばにできあがりました。きつと、お米を守ってくれれると思いました。

わたしは、毎日ご飯を食べていて、茶わんにご飯つぶがついていると、お母さんに、
「お米は、一つぶも残さないで食べてね。」

と、言われます。お米は、大切なんだなと思いました。初めて、米作りを体験してみて、お米を作っている人は、本当に大変だなと思いました。わたし達のために、おいしいお米を作ってくれて、とても感しゃしています。これからも、お米を一つぶも残さないように、大切に食べるようにしたいと思います。

第三回目は、十月七日にいねかり・天日ぼしをやる事になっています。それまでは、地いきの農家の方が、育ててくれます。本当にありがたい事だと思いました。なえを植えてから、何度か見に行きましたが、だいぶ大きくなっていて、成長しているんだな、すごいなと思いました。自分で、田植えをしたお米を早く食べたいなと思いました。とても楽しみです。